

教 科	科 目 名		
国語	国 語 表 現 I		
科目の種類	単位	形態	講座定員
3年エリア専門 選択	2	通年	25人

科目について	科目の概要	<p>進路対策としての小論文、作文の書き方を学習し、進学や就職試験に対応できるように学習する。</p> <p>また、「書く」「話す」という表現分野を学習し、目的や場面に合った文章を書くことができたり、表現できるように学習する。</p> <p>そして、優れた文章や作品、表現に触れることにより、自分の表現の参考としていく。</p>	選択条件	人文科学エリア・テクノ基礎エリア・商業経済エリアの専門選択科目
	年間の授業内容	<p>■1学期(中間テスト 12 時間 期末テスト 8 時間)</p> <p>1. 進学・就職試験対策の国語表現。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小論文と作文の違い。 ・ 何を、どのように表現すればよいのか。 ・ 文章を書く手順。 ・ 句読点の用い方。 ・ 推敲の方法。 ・ 原稿用紙の使い方。 ・ 文章構成法について。 ・ その他。 <p>■2学期(中間テスト 14 時間 期末テスト 16 時間)</p> <p>2. 資料を用いた小論文の書き方。</p> <p>3. 抽象課題の考え方。</p> <p>4. 手紙、はがきの書き方。</p> <p>5. 報告文・レポートの書き方。</p> <p>■3学期(学年末テスト 20 時間)</p> <p>6. 言語による表現と発表。</p> <p>7. 童話を中心とした創作。</p> <p>8. 課題研究。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分でジャンルを選び創作、レポート作成。 	授業形態	基本的事項については講義形式で実施。講義を受け、実際に発表や文章表現をおこなう。
			教科書・使用教材	教科書:『国語表現 I 改訂版』(京都書房) 218 京書 国 I 011 そのほか単元ごとのプリント教材
			評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストは実施しない ・課題・提出物に対する提出状況ならびに達成度 ・出席状況・授業態度等、授業への積極的な参加の姿勢・態度。
			評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題・提出物に対する提出状況ならびに達成度 ・出席状況・授業態度等、授業への積極的な参加の姿勢・態度。
			備考	